

平成28年度第1回
荒川区子ども・子育て会議議事要録

日時：平成28年6月28日（火）午後1時30分～3時30分
会場：サンパール荒川 第2・第3集会室

丸島会長 それでは、定刻となりましたので、平成28年度第1回荒川区子ども・子育て会議を開催させていただきます。

大変ご多忙な中、お集まりいただきありがとうございます。私は、本会議の会長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

右隣には、副会長の長島先生がいらっしゃいます。どうぞよろしくお願いたします。

本日、ご出席が17名、ご欠席が2名、高橋委員と小西委員がご欠席と承っております。

また、新年度ということで事務局職員の人事異動があり、今回より小林保育課長、山下荒川遊園課長、大森児童相談所移管準備担当課長、堀複合施設準備室長、菊池複合施設準備担当課長、椿田統括指導主事となっております。

それから、議事要録作成のため、本日の会議を録音いたします。議事要録につきましては、委員の皆様にご確認をいただいた後、会議資料とともに区のホームページに掲載いたしますので、ご了承ください。

次に、荒川区子ども・子育て会議の運営要綱に基づきまして、本会議は傍聴を許可しております。傍聴人の方がいらっしゃれば、入場させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは、お願いたします。

(傍聴者入場)

丸島会長 それでは、会議の前に、配付資料の確認と、本年度の会議について、事務局から説明をお願いします。

(事務局より、配付資料及び年間スケジュールについて説明)

丸島会長 それでは、本日の議事に入りたいと思います。

まず、議事1、平成28年度放課後児童事業の実施状況について、事務局より説明をお願いします。

(事務局より、【資料1-1】、【資料1-2】、【資料1-3】について説明)

丸島会長 ただいまの説明につきまして、ご質問等あれば、挙手をお願いいたします。

それでは、議事2、平成28年度幼稚園等の通園状況について、事務局より説明をお願いします。

(事務局より、【資料2】について説明)

丸島会長 ただいまの説明につきまして、ご質問等あれば、挙手をお願いいたします。
続きまして、議事 3、平成 28 年度保育の状況について、事務局より説明をお願いします。

(事務局より、【資料 3】について説明)

丸島会長 ただいまの説明につきまして、ご質問等があれば、挙手をお願いいたします。
続きまして、議事 4、荒川区における家庭的保育事業等の認可について、家庭的保育事業は、「荒川区家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例」に基づき、区が認可する施設になりますので、皆様からのご意見をいただきたいと思ひます。

それでは、事務局より説明をお願いします。

(事務局より、【資料 4 - 1】、【資料 4 - 2】について説明)

丸島会長 資料 4 - 1 と 4 - 2 につきまして、ご質問等があれば、挙手をお願いいたします。

千田委員 今、ご説明いただいた小規模保育事業 A 型、かんかんもり保育園を開設することについて、事前に報告がなかったような気がします。私の園は、10メートルと離れていないところでありますが、設置者から 7 月にオープンするというので直に伺いました。事前に伝えていただけなかったわけをお伺いしたいと思います。

小林保育課長 この小規模保育事業開設の報告につきましては、5 月末に議会でご報告させていただいたところです。本来であれば、荒川区のほうからも事前にご説明をするべきであり、これは私どもの不手際でございますので、改めて細かい事項につきましてはご説明を差し上げたいと思っております。申し訳ございません。

丸島会長 ありがとうございます。

そのほかのご意見、その他ございますか。

続きまして、議事 5、平成 28 年度新規認可保育所等利用定員の設定について、本案件は荒川区子ども・子育て会議条例に基づき、皆様からご意見をいただきたいと思ひます。

それでは、事務局より説明をお願いします。

(事務局より、【資料 5】について説明)

丸島会長 今、説明がありました、資料 5 につきまして、何かご意見等あれば挙手をお願いいたします。

ないようですので、議事 6、その他で、「ゆいの森あらかわ」の準備状況等について、

事務局より説明をお願いします。

(事務局より、【参考資料1】について説明)

丸島会長 「ゆいの森あらかわ」の説明につきまして、何かご質問はございますか。

香川委員 2つ質問します。1つは、災害時に幼児を中心にした避難所としても活用できるとありますが、避難所を想定して計画的に建設したのかということです。もう1つは、何時から何時まで開館しているかということです。

菊池複合施設準備担当課長

最初のご質問についてですが、この建物は免震構造となっており、一番安全な建物となっております。しっかりと地震対策等しておりますので、安心して皆さんに利用していただけます。

堀複合施設準備室長 また、開館の時間ですが、朝の9時半から夜の8時半まで、11時間開館する予定です。

丸島会長 ありがとうございます。

それでは、瀬川委員から一言ずつ、お願いいたします。

瀬川委員 保育園の待機児童数の増加が非常に明確になったと思いますが、騒音や子どもの声がうるさいなどいろいろなことが言われ、また保育士の労働条件や賃金が低く保育士が集まらない問題もあります。小規模保育所であっても、どこかビルが空けば、そこを保育園にと荒川区が努力をされているのは、日々感じています。そして、保育士確保がとても難しいのが現実にあります。今日の新聞に、近隣住民がたくさん住んでいるところには小さな保育園をつくったらどうかという提案がありました。私も、保護者が歩いてすぐ行けるような小規模保育室のようなものが荒川区にたくさんできたら、もっと子育てしやすくなるのではないかと感じています。

丸島会長 ありがとうございます。

大駒委員、よろしく願いいたします。

大駒委員 「ゆいの森あらかわ」の時間枠を設けた託児サービスの提供の内容と、気軽に相談ができる相談室の設置ということで、どのような方に相談に乗っていただけるのかということ質問させていただきたいと思います。

堀複合施設準備室長 まず、託児室サービスの時間枠につきまして、1回1コマを2時間程度と考えております。途中からばらばら預かると、一度落ち着いたお子さんが途中で泣き出してしまうこともあると思いますので、始まる時間は同じで、早く迎えに来られる方もその2時間の枠で預からせていただくのが良いのではないかと考えております。

また、相談に乗る職員についてですが、保育士資格のある方あるいは子育て経験のある方を考えております。

丸島会長 ありがとうございます。

糸原委員、よろしく願いいたします。

糸原委員 待機児童の解消ということで、全都的にも、全国的にも、様々な保育施設が増えてきておりますが、何より子どもが育つ環境や保育が保障されるような視点がより強くなってほしいということを常々思っております。

荒川区において、これから開設される保育所等では、環境的にもいろいろ配慮されていると思います。

また、今、認証保育所、家庭的保育を受けた後の3歳児の受け入れ枠が全都的に非常に少なくなっていることも伺っております。東京都公立幼稚園長会にも文部科学省から3歳児の積極的な受け入れの姿勢を持ってほしいというお話がありましたが、それぞれの自治体の方針等もあり、体制を整えていく必要があると思うので、荒川区ではどのような方向で検討しているのか伺わせていただければと思います。

伊藤子育て支援課長 区では、3歳になったとき、今の小規模保育、認証保育所、家庭的保育の後に、連携型でつなげていくことが必要と考えております。国からも、幼稚園等における3歳児の受け入れを検討するという指針が出ておりますので、しっかりと検討していきたいと考えております。

丸島会長 ありがとうございます。

千田委員、よろしく願いいたします。

千田委員 「ゆいの森あらかわ」の「読み聞かせ発表会など」というのは、一般の幼稚園や保育園の発表会にも使うことができるのでしょうか。

また、東京都私立幼稚園連合会からも待機児童の話がありました。政府としては、幼稚園においても、教育活動に支障が生じないように配慮しつつ、地域の状況に応じて積極的に待機児童の受け入れに努めてもらいたいということです。区から私立幼稚園、公立幼稚園に対して、このようなアナウンスは何か出ておりませんかでしょうか。

堀複合施設準備室長 初めに、ホールの発表会についてですが、こちらは「ゆいの森あらかわ」の中でワークショップなどを行い、発表するものをつくり上げ、発表するという形を考えております。

伊藤子育て支援課長 次に、待機児童解消に向けた対応方針についてですが、区における待機児童は、去年までは0歳児、1歳児、ことしは2歳児にも待機者が出たということで、子どもの人口が増えてきている中、幼稚園の活用方法も含め、庁内での検討を教育委員会と子育て支援部とで進めております。幼稚園の方々にもこれからご説明等、また何かご協力できることがないかご相談をさせていただきたいと思っております。

丸島会長 ありがとうございます。

渡辺委員、よろしく願いいたします。

渡辺委員 第一に、放課後児童事業について、実施場所がたくさん増えていますが、職

員がなかなか見つからないという現状があります。また、非常勤に回されてしまうと、資格のある人がそこで働いてくれないという問題もあり、保育園だけでなく、学童クラブやにこにこすくーるに対しても待遇の安定があってほしいという思いがあります。もう一つ、待遇が安定している公務員にまず応募し、私たちみたいな私立に第二希望として入るという話を聞きました。私立も私立でよいところがあるので、もう少し見てほしいという思いがあります。それから、もう少し公立高校で保育士の勉強ができる学校が多くあってほしいという望みもあります。たくさんの若い人ばかり、高齢者ばかり、荒川区に住まれて安心して暮らせるように、行政にもたくさん考えていただき感謝しておりますが、正規の労働者が少ないことを切に思います。それから、年功序列でなく、成果主義はいいのか等の問題も少し考えていただけたらありがたいと思っています。

丸島会長 ありがとうございます。

春田委員、よろしく願いいいたします。

春田委員 先日、荒川区と議会の努力により、B型肝炎の接種が荒川区独自で7月から10月までできることになりました。ありがとうございました。

「ゆいの森あらかわ」で、赤ちゃんのミルクをつくったりする場所や、電子レンジを用意してあるとのことですが、そういうところに朝から夕方まで、居座る方がいらっしやると、お母さん方も何となく不安で、なかなか行きづらくなると思いますが、そういうことに対する対策というものは何か考えておりますでしょうか。

堀複合施設準備室長 現在の図書館の中にもそういった方が全くいないというわけはありませんが、「ゆいの森あらかわ」ができてからは、職員ができるだけお声かけをして、施設の利用そのものに対して、周りの方に御迷惑がかかることがあればお話をし、一旦退館をしていただく必要があると思っております。

丸島会長 ありがとうございます。

香川委員、よろしく願いいいたします。

香川委員 来月から参議院選が始まりますが、焦点は幼児、児童の問題をどうするかというテーマになっています。記事の中に、なぜ保育園の数をもっと増やせないのかという声に対して、近所の住民から、子どもの声がうるさい、という声が出ていますが、子どもがうるさいのではなくて、子どもは遊ぶことが好きで、声を出すのが仕事なんですよね。これをわからない人が結構います。

新聞にも保育園不足というのがありますが、少子化を防ぐには、子どもがいる人たちのことを応援するという子育てに対する愛情をささげなくてはいけないと思います。

丸島会長 ありがとうございます。

恵美須委員、よろしく願いいいたします。

恵美須委員 「ゆいの森あらかわ」を、私も大変楽しみにしていますが、施設をつくるということは中身がすごく大事で、お金がかかるということが大きいことであると思いま

す。新しい施設の中でどんなことができるのか、今、考えていただいていることはとてもすばらしく、本当にこれが実現できるといいなと思いますが、要は、働く人であるという気がしています。

また、たくさんのお子さんがこの施設にいらっしゃるので、兄弟の少ない今の世代に合うように、子どもたち同士が交流できるようなイベントや、大人も子どもたちとの交流や赤ちゃんからエネルギーをもらうことがたくさんあるので、そういった赤ちゃんに触れられるような機会を中であつくりたいと思います。あるいは社会的なマナーに関しても、施設に来る荒川の子どもたちがいい人間になるような、また、本の取り扱い方や建物でのふるまい方などが自然に身につくように、目配りや気配りをしていただける人がいてくださるといいなと思います。

それから、託児に預ける人が多ければ多いほど、お母さんたちがこの施設を使って自分たちのエネルギーを充電して、子どもをもっと大事にするというような、連鎖になっていくように、できるだけ人を充実していただきたいと思います。大人も使える施設ということで、大人と子どもが交流できるスペースを活用できるようなアイデアをたくさん住民からも募集していただき、箱だけでなく、中身がすばらしくなるといいなと思います。

丸島会長 ありがとうございます。

藤間委員、よろしくお願いいたします。

藤間委員 香川委員の話聞き、子どもが大きな声を出して遊んでいるのは日常なことであると改めて再確認しました。私自身、住んでいるところが道を一本挟んで保育園の目の前であり、仕事が休みの日には、子どもたちのとてもにぎやかな声が聞こえて、こっちも楽しくなって過ごしています。また、給食のにおいがすると、ああ、これから給食なんだとか、ああ、静かになったので、お昼寝になったかなとか、そういったことを一日一日感じながら生活をしています。

たくさん保育園をつくらせていただいておりますが、職員を充実していただき、子どもが安全に日中を過ごせるようにしていただければ、保護者として本当に申し分ないと思いますので、ぜひ職員の方の確保ができるよう、区でも様々な援助をしていただきたく思います。

あと、学童クラブの話についてですが、今年の夏休みから午前8時15分から利用できる制度を取り入れていただけるということで、仕事をされている保護者の方には、この15分はとても大きいと思うので、ぜひ続けていただきたいと思います。

丸島会長 ありがとうございます。

荒巻委員、よろしくお願いいたします。

荒巻委員 私の自宅も小学校に併設されているこども園が隣にありますので、常に朝から夕方まで、わんさか、子どもの声が聞こえる状況です。私個人としては、かわいい声や歌声が聞こえるので、とても心が癒されるというように感じておりますが、そのように思

わない方もいることを保護者としても自覚すべきだと感じております。

平成28年度幼稚園等通園状況の推移につきまして、区外の私立幼稚園に通う園児が3年連続減少していますが、やはり区外の私立幼稚園へ流れる数は多いと見受けられます。公立幼稚園の3歳児受け入れは必須ということですが、教員の数が足りないということにも問題があると思います。教員確保のために、園だけではなく、区としてどのような対応をされているのか、また、3歳児に比べて4、5歳児の定員割れが見受けられるので、その点についてはどのような対応をされているのか、お伺いしたいと思います。

相川学務課長 まず、公立幼稚園における教員の確保につきましては、現在、学務課及び指導室を通して、優秀な人材や人数の確保について、毎年お願いしてありまして、今年も引き続きやっていきたいと思っております。

また、4、5歳児の減少についてですが、区立幼稚園につきましても、他区へ流れている状況も含めまして、より魅力ある幼稚園づくりを教育委員会あるいは区役所の中でも検討していきたいと思っております。

丸島会長 ありがとうございます。

隣接区の北区では、区立の数が大分減ってきたところですが、荒川区では、そういう方向はありませんか。

相川学務課長 幼稚園の数につきましては、特段この先も現状維持を考えております。

丸島会長 ありがとうございます。

麻生委員、よろしく願いいたします。

麻生委員 三日小では、にこにこすくーとのバランスが難しいため、夕方5時からおやつとなっており、保護者との説明会でも話が平行線だったということを聞いております。これは三日小だけのことなのか、それともにこにこすくーを併設している学校における共通の問題なのか、教えていただけますでしょうか。

根本児童青少年課長 これまで学童クラブとにこにこすくーが同じ建物の中にあっただけの場合、一体的運営という形で、それぞれ別々の活動をしていた時期もあり、学童クラブの子どもにはおやつの時間がありますので、にこにこすくーの子どもとの活動を一緒にしていたところを一旦中断して、部屋に戻りおやつを食べていました。今回の総合プランでは、子どもたちからの意見も尊重して、遊ぶ時間をできるだけ長く設定いたしました。

現在、15校で放課後子ども総合プラン一体型という形で進めておりますが、そのほかの学校では、おやつの時間については5時のままでもいいという保護者もいらっしゃる中、三日小につきましては、保護者の方との面談も行い、今後どうしていくべきかご相談をさせていただいたところであります。

今後、また、区全体の放課後総合プランにおける運営委員会がありますので、その中でしっかり保護者、指導員、子どもたちの声も聞きながら、運営委員のメンバーと継続しておやつの時間等について検討を進めてまいりたいと考えております。

丸島会長 ありがとうございます。

それでは、新井委員、よろしく願いいたします。

新井委員 「ゆいの森あらかわ」の託児室につきまして、託児室では、0歳児でも預けることができるか、ミルクや離乳食についても対応していただけるのか、また託児をお願いした際に、少し息抜きで外に出ることも認めてもらえるのかなどについてお聞きしたいと思います。

堀複合施設準備室長 まず、お預かりするお子様の年齢ですが、0歳児からを考えておりますが、首がすわってからと考えておりますので、月数につきましては、今後検討させていただきますかと思っております。

また、食べ物につきましては、アレルギーを持っている他のお子さんが、間違っって食べる等事故を起こすということがあるといけないので、お預かりは少し難しいと思っております。水分補給は必要でありますので、水分についてはお預かりしたいと思っております。

外出するということですが、この施設全体がお子さんを育てている方たちの支援とビジネス支援ということもありまして、例えば資格試験のための勉強を中ではなく外で必要だということがあった場合には、外に出ていただくことも可能であると思っております。そのため、今後、細かいところを詰める中で御意見を伺って決めていければと考えております。

丸島会長 ありがとうございます。

伊藤委員、よろしく願いいたします。

伊藤委員 「ゆいの森あらかわ」につきまして、自転車でお子さんを連れて来られるお母さんが結構いると思うのですが、駐輪場には何台ぐらい止められるのでしょうか。また、子乗せ自転車専用の駐輪スペースもつくっていただけると使いやすいと思っております。

あと、もう一点ですが、コミュニティバスのバス停は、この近くにあるのかどうか教えていただきたいです。

菊池複合施設準備担当課長 まず、自転車駐輪場についてですが、370台程度止められるように確保しております。前輪をガチャンと挟むような機械式ではなく、線を引いてあるだけですので、お子さんを乗せる少し大きな自転車につきましては、線を少しはみ出しても止められる形で対応いただけるのではないかと考えております。

次に、2点目のコミュニティバスのバス停ですが、現在調整中です。御指摘のとおり、「ゆいの森あらかわ」を通るバスルートは現在ありませんが、道を一本隔てた荒川図書館のところにはコミュニティバスが通っております。今回荒川図書館は「ゆいの森あらかわ」に移転という形を考えておりますので、あわせてコミュニティバスのルートにつきましても、できるだけ区民の皆様が利用しやすいように変更できればと考えております。

丸島会長 ありがとうございます。

川出委員、よろしく願いいたします。

川出委員 「ゆいの森あらかわ」の昨年最初の御説明のときに、がやがやとにぎやかな、北欧の図書館のようなという表現があったので、今までのように「静かにしなさい」と言いながら利用しなくていいのかなと思ひ、すごく楽しみにしていたのですが、基本的に5階の「静かな」と書いてある学習室以外はがやがやしている認識でよろしいのでしょうか。

堀複合施設準備室長 にぎやかな図書館を目指しておりますので、1階から3階まではかなり音が聞こえているような図書館になるかと思ひますが、4階の部分につきましては、少し静かな図書館になるかと思っております。ただ、中で楽器などを演奏して、演奏会なども予定しておりますので、4階、5階についても少し音が聞こえてくるというような施設になるかと思ひます。基本的には、皆さんが集まってお話をしながら本を選んだり、それについて議論するということが今後、社会の中でも必要になっていくと思ひますので、そういったことができるような施設になっていけるように努力してまいりたいと思ひます。

丸島会長 ありがとうございます。

本日、にこにこすくルールや学童クラブの話も出ておりましたが、阿部教育部長、よろしくお願ひいたします。

阿部教育部長 教育委員会といたしましては、幼稚園には幼稚園としての魅力があり、この幼稚園の魅力を高めていき、さらなる幼児教育の充実に努めなければならないと日ごろから感じております。今後とも、こういった方策がとれるのかを考え、また、工夫してまいりたいと思ひています。

子どもの数が増えていく中で、小中学校においても、児童・生徒の受け入れが大きな課題となっております。それぞれの学校施設においても工夫を凝らして、普通教室等を確保し、児童・生徒は良質な教育環境のもとで教育活動に取り組んでいただくことを考えております。地域によっても偏りがあり、例えば第三瑞光小学校ですと、来年3月に増設の校舎をつくり児童数の増に対応するといった工夫もしているところです。教育施設、教育環境の充実についても、教育委員会として子どもたちの成長をしっかり見守っていく上で必要であると考えております。

荒川区の小中学校の図書につきましては、「ゆいの森あらかわ」といった中央図書館機能のある施設との連携のもとで、さらに子どもたちの読書活動が充実していくことを考えております。

また、星空学習もぜひ「ゆいの森あらかわ」で実施していきたいと思っておりますし、星空に限らず、理科、科学あるいは地理といった教育活動にもぜひ活用して実施していきたいと思っております。

丸島会長 お教へいただける範囲で結構ですが、公立幼稚園としては、教員の確保は問題なくっておりますでしょうか。

阿部教育部長 基本的に、クラス数に応じて幼稚園教諭の確保は行っております。また、特別区全体における採用の中で魅力ある教師を採用して、教育活動に取り組んでいただく

ということで、公立幼稚園としてはしっかりとした教員の配置をしております。

丸島会長 公立の保育所では保育士の確保はいかがでしょうか。

小林保育課長 公立保育士の採用につきましては、正規の場合、例年夏ごろに募集をし、非常に多くの方に受験をしていただき、採用できているという状況であります。ただし、非常勤職員や臨時職員の採用に関してはその確保が、難しくなっている状況です。様々な手法で採用案内等をしてはいますが、それでも十分に確保できていない状況であります。

丸島会長 ありがとうございます。

子育て支援部ということで、青山部長、よろしく願いいたします。

青山子育て支援部長 まず、区からの情報提供が遅れたという千田委員のご意見につきまして、今後の情報提供のあり方を整理させていただきたく、おわびとともに申し上げたいと思っております。

2点目は、学童クラブにつきまして、この4月から全ての学童クラブで午後7時までの延長利用をスタートしております。さらにこの夏休みからは、開始時間を8時半から8時15分へ繰り上げできるようにすることを予定しております。事業者の皆さんには、保育士が不足している中で人員のやりくりをしていただき、本当に感謝しております。

最後に、待機児童につきまして、0歳児から2歳児に集中しているという状況があるため、小規模な保育施設をつくるのが即効的と言われておりますが、保護者の立場になると、3歳になったらまた保活をするのかという不安を抱くことにもなりかねないと考えております。

近年、区内では保育園の新設が続いているため、3歳児から5歳児の待機児童は出ておりませんが、今後、3歳児から5歳児の保育施設のあり方についても考えていかなければならないと思っております。

その一方で、23区では、共働きやひとり親の方に向けた保育施設の整備に問題意識を持って取り組もうとしております。その中でも働き方につきましては、育児休業制度が今は十分でないため、希望する方も保育園に子どもを預けて仕事を続けなければならない実情があることを把握する必要があると思っております。経済的支援も含めた育児休業制度の見直しを国にしっかりと申し上げていくべきではないかと考えております。

区としましては、今後も保育施設の整備に努めていく一方で、保護者の皆さんの気持ちに寄り添った対応も視野にいれながら対策に取り組むよう、国に申し上げていきたいと思っております。

丸島会長 ありがとうございます。

北川副区長、よろしく願いいたします。

北川委員 まず、千田委員、本当に申し訳ありませんでした。目と鼻の先にできるのであれば、目の前のところにご挨拶に行くことは当たり前のことであると思えます。おわび申し上げます。

この10年間で荒川区の保育園の定員は2,000人増えており、この5年間で就学前の子どもが700人増えたため、保育園の定員を約1,200人に増やしたところですが、それでも待機児童が出てしまったということになっております。とはいいまして、荒川区の保育利用率が23区で一番であるということは、保育園を利用したいと思っ

ている方が、相当高い確率で保育園に入ることができるのではないかと考えております。また、幼稚園の問題ですが、日本全国でみると、地方ではむしろ定員が余っているところもたくさんあり、東京を比べてみると、そもそも状況が違い過ぎることがあります。そのため、今、いろいろ議論しているところでありますので、一定の考え方がまとまりましたら、またご意見をいただきたいと考えております。

それから、保育士の育成につきまして、荒川区では、今年から保育士の宿舎を借り上げた場合に補助金をお出しする取り組みを行っております。あわせて、保育士や教員の養成学校と何か連携するようなことができないかということも模索しております。様々な形で連携することで、保育士が安定的に集まり、それが最終的には保育の質とかレベルアップにもつながっていくと考えております。

本日も「ゆいの森あらかわ」につきましてご説明申し上げましたが、現在、あらかわ遊園につきましても、大分老朽化してきたということもあり、リニューアルを考えております。ディズニーランドのようにすごいことはできませんが、のんびり楽しんでいただける遊園地をこれからも受け継いでいきたいと考えております。

あわせて、区では、子育て交流サロンや親子ふれあい広場などを重視しようと思っております。保護者の方々が気楽に集まれる場所ができると、場合によっては一人で家で悩んでいる方が悩みを打ち明けることもできるかもしれませんし、もしかしたら虐待が防げるかもしれないということもあるため、できるだけ各地区に設置していこうと考えております。その延長上として、区としては児童相談所の東京都から区への移管を考えてお

りまして、深刻で緊急な事態であっても、より身近な場所できめ細かく対応できるような体制をつくっていききたいと考えております。10年前と比べると、荒川区の子育て支援の単独予算は倍ぐらいになっております。おかげさまでお子さまに喜んでもらえる環境づくりがレベルアップできてきたのではないかと考えております。そのため、これからも子ども・子育て会議はいろんなご意見をいただけるとても重要な場であると思っておりますので、お気づきの点等ありましたら、遠慮なくおっしゃっていただけることを心から期待を申し上げます。ありがとうございました。

丸島会長 ありがとうございます。

この会議としましても一応終盤に入りますので、長島副会長、よろしく願いいたします。

長島副会長 一つ確認になりまして、学童クラブについて定員と在籍の児童・生徒数が示されておりますが、待機児童については、0歳、1歳、2歳と動いているところで、小

一の壁というのは、荒川区ではないと考えてよろしいでしょうか。

根本児童青少年課長 今のところ、全体の枠で1,395名の定員のところ、児童数が1,247名と、100名以上余裕がある状況で、ご希望の学童クラブに入っている状況です。今後、保育園の園児が小学校に上がれば、数年後、学童クラブも利用率が高まってくると考えられますので、引き続き推移を見ながら、定員拡大などの対応をしていく必要があると考えております。

長島副会長 ありがとうございます。

それから、「ゆいの森あらかわ」につきましては、私も期待しており、開館を楽しみに思っております。

最後になりますが、こういった会議でそれぞれの立場でいろんな意見を言い合う、出し合うというのは、非常に大事なことであるということを再認識した次第です。

丸島会長 それでは、最後になりますが、事務局から、今後の日程等、ご連絡をお願いいたします。

伊藤子育て支援課長 本日はたくさんのご意見をいただきまして、まことにありがとうございました。この意見を踏まえて、今後様々な施策等も検討していきたいと思っております。

次回の日程でございますが、10月を予定しております。内容としましては、平成27年度における子ども・子育て支援事業の実施状況及び平成29年度の幼稚園・保育園の利用定員となります。保育園につきましては、平成29年4月に新しく園が増えるという話も出ておりますが、各幼稚園を含めた形で平成29年度の利用定員をご提示させていただきたいと思っております。

次回もまたよろしくお願いいいたします。

丸島会長 ありがとうございます。

それでは、これもちまして、平成28年度第1回の荒川区子ども・子育て会議を終了といたします。ご協力ありがとうございました。